



第2期

大村市観光交流まちづくり計画

(案)

目 次

第1章 第2期大村市観光まちづくり計画の策定

1	大村市の概要	2
2	観光面での大村市の特徴	3
3	観光計画の変遷	5
4	計画の目的	5
5	計画の位置づけ	5
6	計画期間	6
7	SDGs(持続可能な開発目標)への貢献	6

第2章 大村市観光の現状

1	世界観光の動向と訪日旅行の状況	7
2	国内観光の動向	8
3	長崎県の観光の動向	9
4	大村市の観光の動向	11
5	大村市観光の現状分析	12

第3章 大村市観光振興の基本方針

	計画の体系	13
基本方針1	歴史や自然等を活かした観光地の魅力向上	14
基本方針2	観光イベントやコンベンション誘致の強化	14
基本方針3	観光基盤の整備	14
基本方針4	情報発信・プロモーション活動の強化	14

第4章 大村市観光振興の基本施策

基本方針1 歴史や自然等を活かした観光地の魅力向上

- 基本施策1 体験・交流型観光の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 5
- 基本施策2 自然を活かした観光の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6
- 基本施策3 歴史・文化資源の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 7
- 基本施策4 食を活かした観光の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 8
- 基本施策5 新たな観光資源の発掘・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 8

基本施策2 観光イベントやコンベンション誘致の強化

- 基本施策1 まつりの充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 9
- 基本施策2 多様なイベントの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 20
- 基本施策3 コンベンション等の誘致の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 21

基本方針3 観光基盤の整備

- 基本施策1 国内外からの観光客受入体制の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 22
- 基本施策2 歴史・文化的な観光資源やまちなみの保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 22
- 基本施策3 観光アクセスの充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 23
- 基本施策4 観光推進体制の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 23

基本方針4 情報発信・プロモーション活動の強化

- 基本施策1 多様な情報発信ツールの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 24
- 基本施策2 戦略的プロモーションの展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 24

観光交流まちづくり計画の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 25

はじめに（案）

市長あいさつ

第1章

第2期大村市観光交流まちづくり計画の策定

1 大村市の概要

長崎県の中央部に位置する大村市は、豊かな自然と歴史文化が調和するまちです。市の西側には大村湾、東側には多良山系があり、四季折々の風光明媚な景観を有しています。

日本で最初のキリシタン大名となった大村純忠は、天正10年（1582年）に4人の少年使節をローマに派遣（天正遣欧少年使節）するなど、日本の歴史において大きな役割を果たしました。

また、大村湾に浮かぶ^{みしま}箕島周辺を造成して作られた、世界初の本格的な海上空港である長崎空港に加え、令和4年に西九州新幹線が開業したことにより、「空港」「高速道路」「新幹線」という高速交通の“三種の神器”が揃うまちとなりました。

生活の利便性や、子育て環境が充実しているなどの理由から、大村市の人口は長崎県内で唯一、50年以上連続で増加しており、全国の335の自治体で働く世代2万人が、実際に住んでいる街・直近で住んでいた街に対しての住みよさを評価する「シティブランド・ランキング（住みよい街2025）」では、東京の都心3区に続き、全国第4位にランクインし、「子育てしやすい自治体ランキング」では、堂々の全国1位を獲得しています。

一方で、長崎市・佐世保市の高い知名度と比較して、「素通りのまち」と言われるなど、大村市の観光面での地名度は高くありません。自然や歴史等を活かした観光振興を行うためには、官民一体となった計画的な取組が必要です。



2 観光面での大村市の特徴

花

日本さくら名所100選に選ばれた大村公園には、オオムラザクラを始め、クシマザクラ、ソメイヨシノなど20種類以上の桜が咲き、多くの観光客が訪れます。裏見の滝自然花苑では、世界のシャクナゲ約40種類およそ6,000本が3月下旬から4月下旬に見頃を迎え、玖島城跡の堀を利用した花菖蒲園では、約10万株およそ30万本のハナシヨウブが5月下旬から6月上旬の初夏を彩ります。



歴史・文化

本市には、日本初のキリシタン大名大村純忠をはじめ、天正10年（1582年）に日本で初めてヨーロッパを公式に訪問した天正遣欧少年使節や、キリスト教禁教下でひそかに信仰を続けた人々の歴史を伝えるキリシタン史跡、日本遺産にも認定された「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」につながる食文化など、多くの歴史・文化が残されています。



自然

多良山系を東に仰ぎ、西に「琴の海」と呼ばれる波静かな大村湾を望む大村市は、自然豊かな景勝地が数多くあります。

多良山系のふもとにある周囲3kmの人工湖である野岳湖の周辺には、令和7年に開業したフォレストアドベンチャー・おおむら長崎をはじめ、キャンプ場やサイクリングロードが整備され、多くの利用客で賑わいます。

標高333メートルの琴平スカイパークからは、市内はもちろん、遠くは雲仙や西海方面まで一望でき、郡川砂防公園が整備された黒木溪谷では、夏には川遊び、秋には紅葉が楽しめます。



交通

本市には長崎県の空の玄関口である長崎空港があり、年間約300万人以上が利用しています。国際線を含めても、主要空港まで2時間以内で発着し、長崎～ソウル線の再開により、ますます利便性が高まっています。

令和4年に西九州新幹線が開業（部分開業）したことにより、「空港」「高速道路」「新幹線」という高速交通の“三種の神器”がそろい、交通の要衝となっています。



3 観光計画の変遷

本市では、平成18年度から平成27年度まで、自然や歴史を活かした観光やニーズに応じたメニューの開発など、「歴史を活かした観光振興計画（平成24年一部見直し）」に基づく観光振興施策を展開しました。

この間の観光を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成28年度からの10年間は行政と市民・観光関連団体・観光関連事業者が、互いに協働して取り組むための指針として「大村市観光交流都市づくり計画」を策定し、事業を推進してきました。

現計画の計画期間が令和7年度末で終了することに伴い、「第2期大村市観光交流まちづくり計画」を策定します。

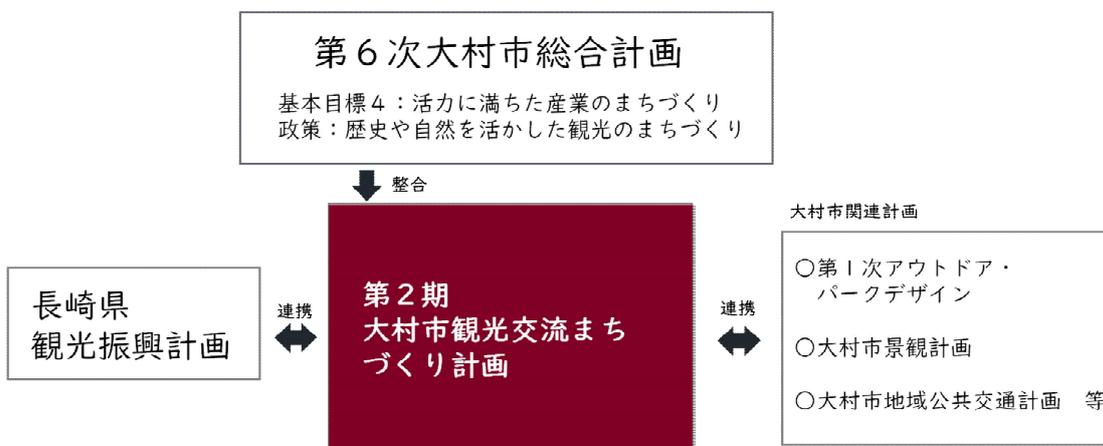


4 計画の目的

本計画は、第6次大村市総合計画における基本目標の1つである「活力に満ちた産業のまちづくり」の、観光面の政策である「歴史や自然を活かした観光のまちづくり」を実現することを目的とします。

5 計画の位置づけ

本計画は、第6次大村市総合計画を上位計画とし、長崎県観光振興計画や大村市の関連計画と連携しながら、本市の観光事業を官民一体となって推進していくための指針として策定します。



6 計画期間

この計画は、令和8年度を初年度とし、令和17年度を最終年度とする10年間を計画期間とします。なお、社会情勢や観光を取り巻く環境等の変化を踏まえ、より効果的な取組を推進するため、5年後の令和13年度に計画の見直しを行います。

7 SDGs（持続可能な開発目標）への貢献

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現」を目指す世界共通の目標です。

第2期大村市観光交流まちづくり計画においても、SDGsの達成に貢献していきます。



17のゴールのうち、第2期大村市観光交流まちづくり計画に関連するもの

目標4：すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

目標8：すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長雇用及びディーセント・ワークを促進する

目標11：都市を包括的、安全、強靱かつ持続可能にする

目標12：持続可能な消費と生産のパターンを確保する

目標13：気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策をとる

目標14：海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

目標15：森林の持続可能な管理、土地劣化の阻止、生物多様性損失を阻止する

目標17：持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する

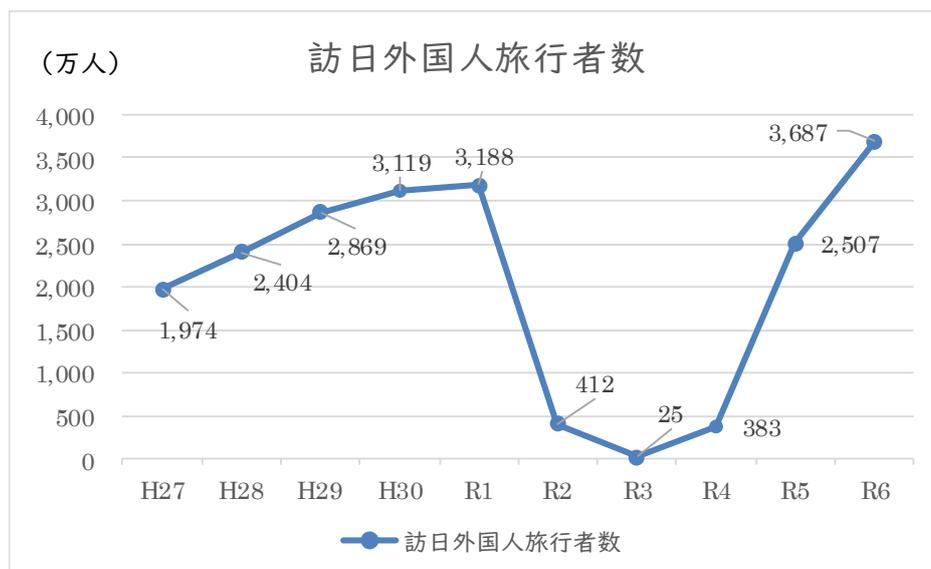
第2章

大村市観光の現状

1 世界観光の動向と訪日旅行の状況

世界各地の国際観光客の総数は、令和元年に14億7,000万人を記録しました。その後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大きく減少しましたが、UN Tourism（世界観光機関）の令和7年1月の発表によると、世界全体の国際観光客数は14億4,507万人となり、ほぼ新型コロナウイルス感染症拡大以前の状況まで回復しています。

訪日外国人旅行者数は、令和元年までは日本政府観光局（JNTO）のプロモーション等により過去最高を更新していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年から令和4年に大きく減少しました。その後、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年以降、徐々に回復ははじめ、令和6年には年間で3,687万人と過去最高を記録しています。



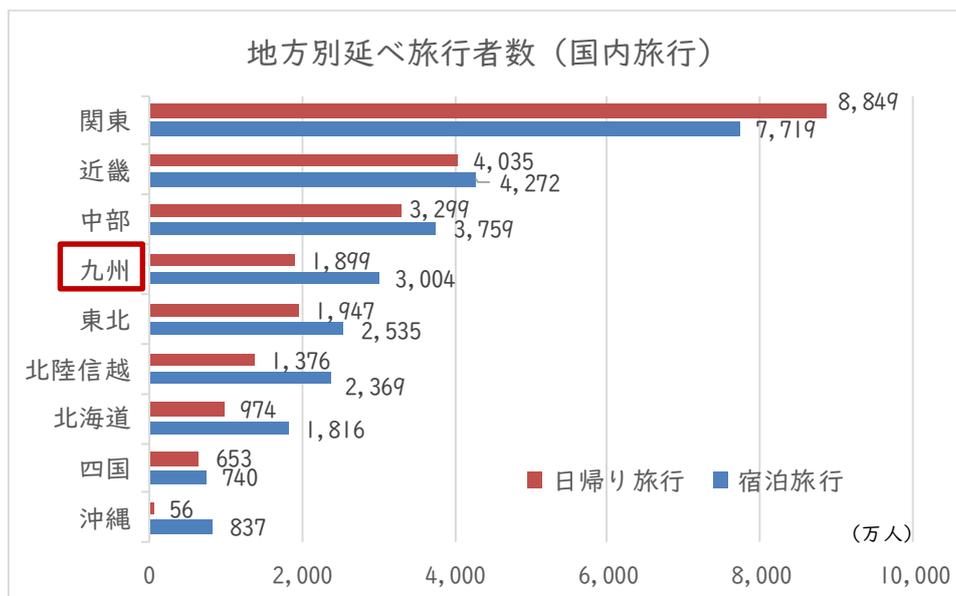
参考：観光庁「令和7年度観光白書」

【観光庁：令和7年度観光白書】 <https://www.mlit.go.jp/statistics/file000008.html>

【観光庁：旅行・観光消費動向調査】 https://www.mlit.go.jp/kankoch/tokei_hakusyo/shohidoko.html

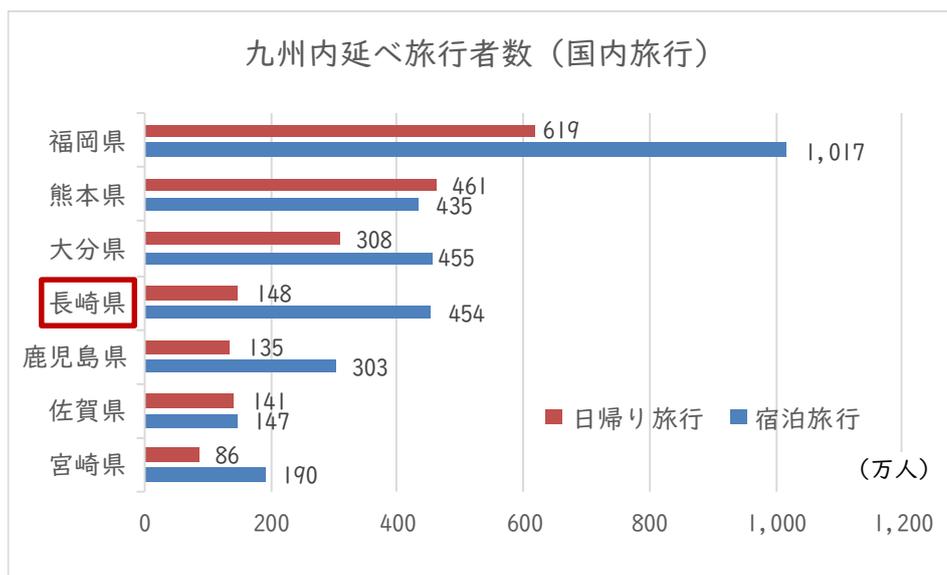
2 国内観光の動向

令和6年の日本人の国内延べ旅行者数を地方別にみると、関東が約1億6,500万人、近畿が約8,300万人、中部が約7,000万人となっており、九州地方は約4,900万人で地方別では4番目の数字となっています。



参考：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

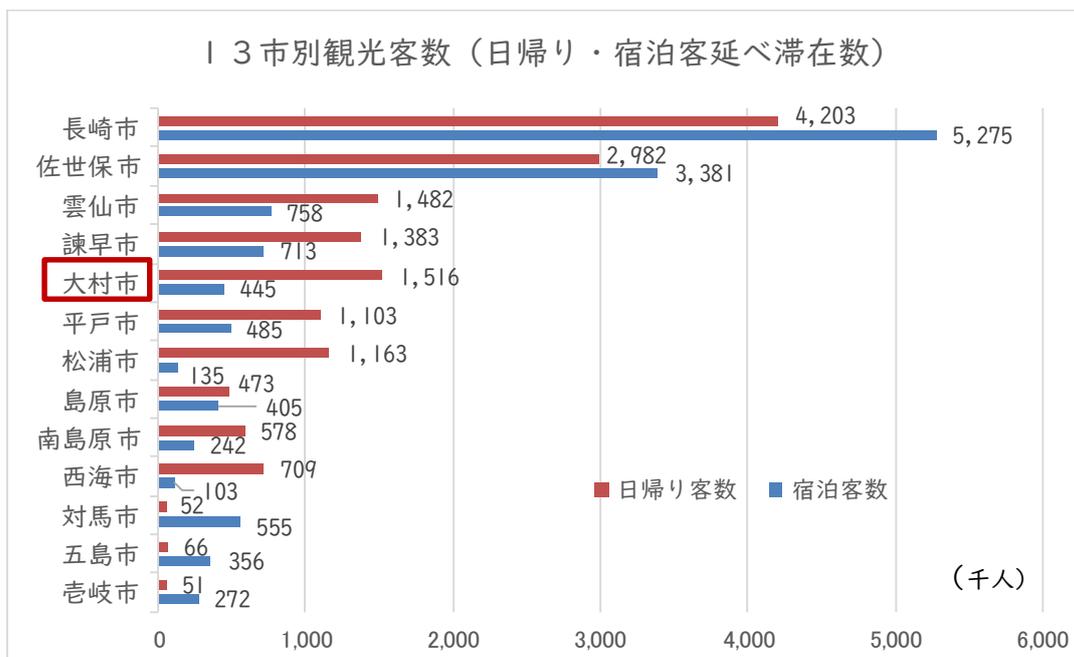
令和6年の日本人の国内延べ旅行者数を九州内でみると、福岡県が1,636万人、熊本県が896万人、大分県が763万人となっており、長崎県は602万人で九州地方で4番目の数字となっています。



参考：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

3 長崎県の観光の動向

令和6年の長崎県観光統計によると、長崎県全体の日帰り観光客数は17,270千人、宿泊客延べ滞在数は13,534千人となっています。市別にみると、大村市は日帰り観光客数は1,516千人と3番目の数値となっていますが、宿泊客延べ滞在数は445千人と7番目の数値となっています。



参考：令和6年 長崎県観光統計

【長崎県内宿泊施設の軒数】

出典：令和6年長崎県観光統計

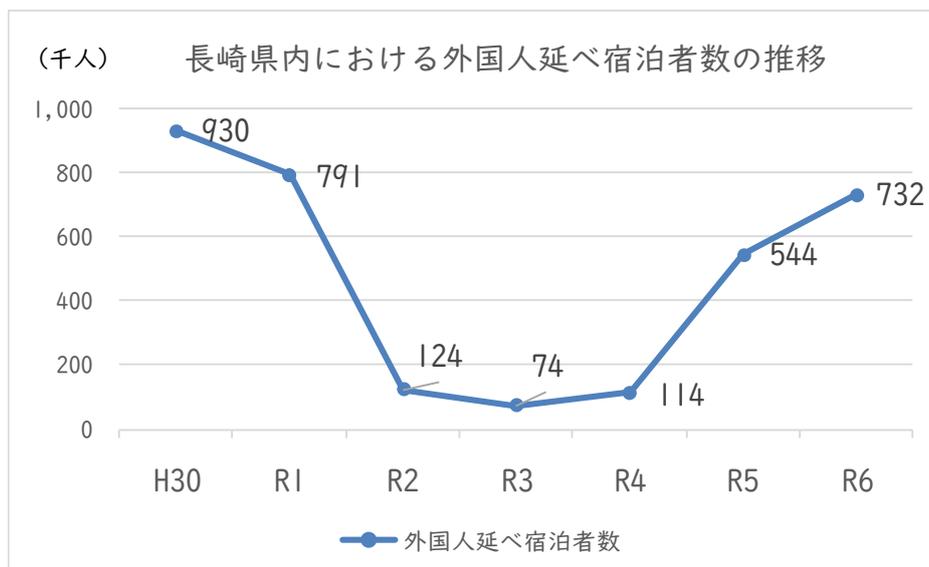
(令和6年4月1日現在の状況)

(単位：軒、人)

区分	旅館・ホテル		ビジネスホテル		国民宿舎、YH 保養所、その他		民宿		計		《参考》 農林漁業 体験民宿	
	施設	収容人員	施設	収容人員	施設	収容人員	施設	収容人員	施設	収容人員	施設	収容人員
県計	393	31,799	136	13,335	202	5,437	257	4,464	988	55,035	828	4,105
①長崎市	110	11,240	28	4,861	22	1,027	17	270	177	17,398	9	41
②佐世保市	35	6,907	19	2,420	23	775	7	119	84	10,221	66	325
③西海市	16	349	3	121	8	293	10	170	37	933	49	240
④平戸市	26	2,374	3	106	9	229	31	456	69	3,165	146	696
⑤松浦市	14	504	3	218	2	34	5	36	24	792	162	821
⑥諫早市	14	533	15	1,589	4	460	4	45	37	2,627	0	0
⑦大村市	10	380	10	1,028	4	85	1	10	25	1,503	9	60
⑧島原市	7	1,100	7	424	2	112	3	90	19	1,726	0	0
⑨雲仙市	40	3,133	5	408	8	457	2	42	55	4,040	0	0
⑩南島原市	9	912	1	60	1	8	5	77	16	1,057	144	719
⑪五島市	28	1,018	15	451	52	544	33	338	128	2,351	140	672
⑫壱岐市	24	944	5	141	27	426	39	1,121	95	2,632	0	0
⑬対馬市	23	1,307	13	1,018	13	394	67	1,268	116	3,987	36	214

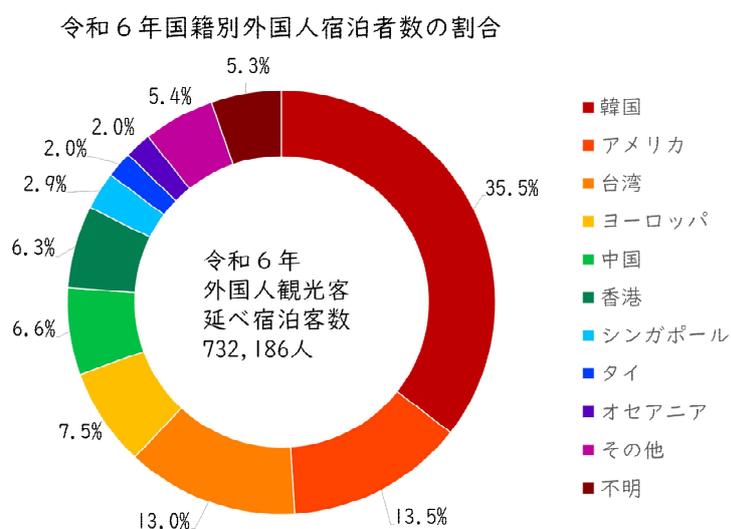
(注) 市町において令和6年4月1日現在の宿泊施設の実態について調査した結果を県で集計した。
収容人数については、団体向けの場合でなく、一般向けに使用した場合の収容可能な人数を計上している。
参考の農林漁業体験民宿は、旅館業法に基づく営業許可数(令和5年度末現在)を掲載している。

平成30年から令和6年の長崎県内における外国人宿泊者数の推移を見ると、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、外国人宿泊者数は大幅に減少しましたが、新型コロナウイルス感染が5類感染症に移行した令和5年から大幅な回復傾向にあります。



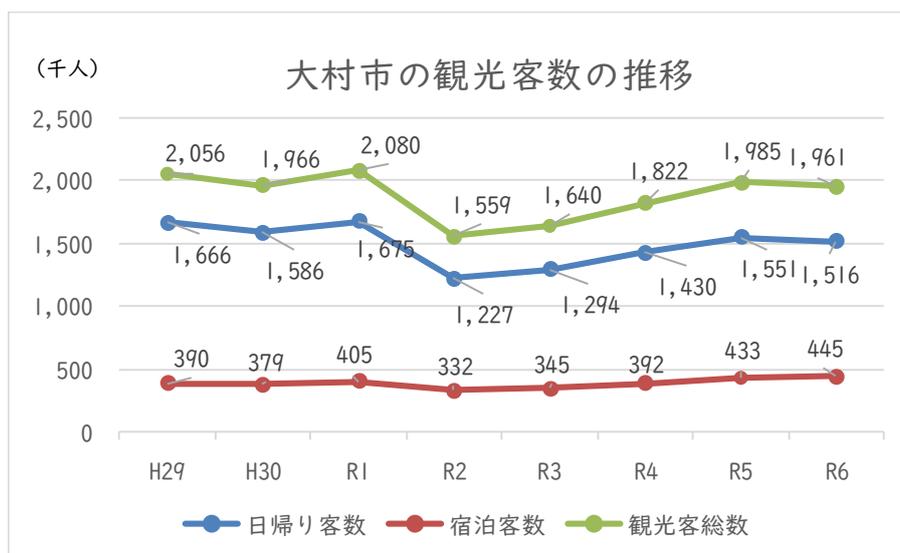
参考：H30～R6長崎県観光統計

令和6年の外国人宿泊者数の割合を国別に見ると、韓国の割合が最も多く、全体の35.5%を占めています。2番目にアメリカの13.5%、3番目が台湾の13.0%となっています。

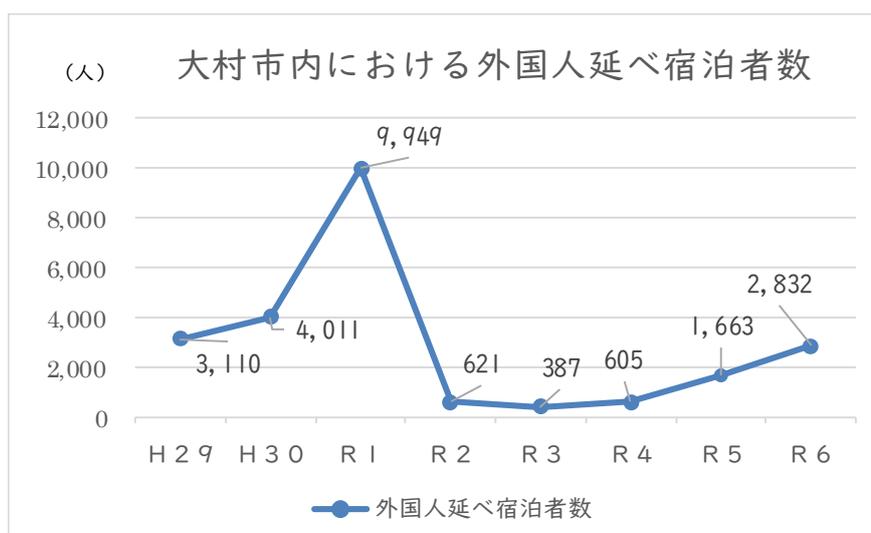


4 大村市の観光の動向

大村市における観光客数（日帰り客・宿泊客を含む）の推移は、以下のグラフのようになっています。令和6年は、ビジネス客などの宿泊需要は堅調に推移したものの、令和5年と比較するとイベントの反動減などから、観光客延べ数は約2.4万人の減となっています。



大村市内における外国人宿泊者数の推移を見ると、令和5年に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、同年10月に運航を再開した長崎～上海線や、令和6年10月から運航を再開した長崎～ソウル線の直行便の影響などにより、令和6年は前年と比較して1,169人の増となっています。



5 大村市観光の現状分析

【大村市観光の強みと弱み】

これまで策定してきた観光計画や統計データ、観光交流都市づくり推進協議会等での協議を踏まえ、大村市観光の現状を SWOT 分析※により整理しました。

内的環境

強み Strengths

- 桜や花菖蒲など、四季の自然資源が豊富
- 日本初のキリシタン大名など、特徴的な歴史をもつ
- 夏越まつりや郡三踊など、豊かな伝統や文化がある
- 高速交通三種の神器がそろい、アクセス性に優れている
- コンパクトで暮らしやすい都市のづくり
- ポートレースやミライオンなど、特色ある市の施設

弱み Weaknesses

- 観光地としての認知度の低さ
- インバウンド対策の遅れ
- 「素通りのまち」と言われるなど、観光資源の乏しさ
- 宿泊施設の少なさや二次交通の脆弱性
- 事業者の高齢化や観光ガイドの減少など、観光人材の不足

外的環境

機会 Opportunities

- 九州新幹線の開業
- 韓国直行便の開通など、インバウンドの需要回復
- デジタルの普及
- 地方創生への後押し（第2世代交付金など）
- ワーケーションやエコツーリズムなど新しい観光形態の拡大

脅威 Threats

- 将来的な人口減少や高齢化などによる担い手不足
- 長崎・佐世保の地名度
- 観光の低価格・短時間志向
- 観光客の嗜好性のめまぐるしい変化
- 気候変動や災害のリスク

【SWOT 分析からみえてきた大村市観光の方向性】

分析結果

- 歴史や自然資源を観光資源とするための対策が必要 →基本方針1
- アクセス性を活かした日帰り観光客の誘致や
利便性を活かしたコンベンションの誘致が可能 →基本方針2
- 国際線の再開を活用したインバウンドへの対策が必須 →基本方針3
- 持続可能な観光の基盤づくりが不可欠
- デジタル化を含めた戦略的なプロモーション活動が必要 →基本方針4

【長崎県観光統計】

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/kanko-bussan/statistics/kankoutoukei/296549.html>

※【SWOT 分析】強み (Strength)、「弱み (Weakness)」、「機会 (Opportunity)」、「脅威 (Threat)」の4つの要素から現状を分析するもの。

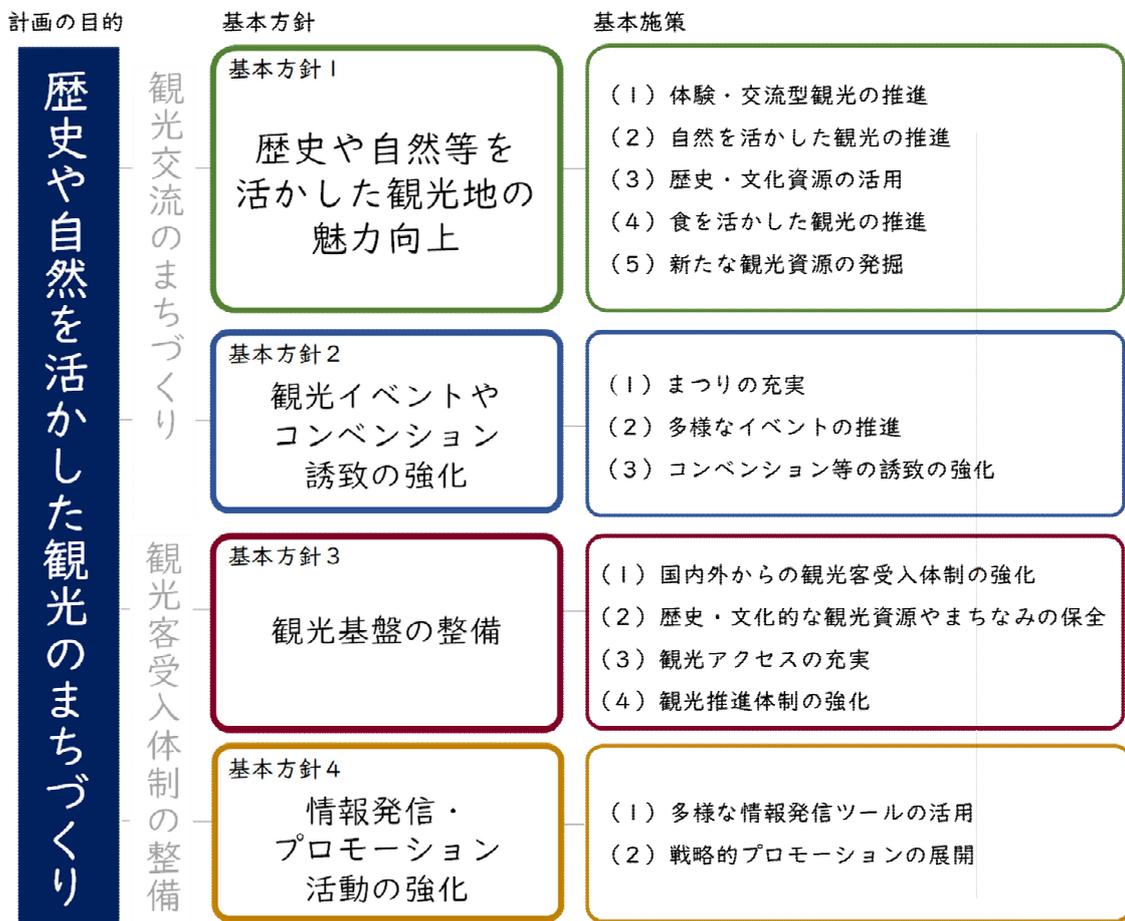
第3章

大村市観光振興の基本方針

本計画では、大村市第6次総合計画の基本計画のうち、観光面の政策である「歴史や自然を活かした観光のまちづくり」を実現することを目的とします。

大村市観光の現状分析等を踏まえ、「観光交流のまちづくり」「観光客受入体制の整備」という2つの側面から、以下の4つの基本方針を掲げ、効果的な観光施策を展開していきます。

計画の体系



基本方針1 歴史や自然等を活かした観光地の魅力向上

本市の歴史・文化や豊かな自然を活かした多様な体験プログラムを開発し、着地型観光を推進します。また、野岳湖周辺地区を中心とするアウトドアアクティビティの充実を図り、県内外からの観光客誘致に努めます。

目標	単位	基準値（R6年度）	目標値（R12年度）
観光客数	人／年	1,961,799	2,340,000

※観光客数には、日帰り客と宿泊客の両方を含む

基本方針2 観光イベントやコンベンション誘致の強化

「おおむら花まつり」や「おおむら夏越まつり」など、既存のイベントの効果的なPRを行い、観光客の誘致に努めます。また、関係団体と連携し、各種会議やスポーツ大会の誘致を強化します。

目標	単位	基準値（R6年度）	目標値（R12年度）
観光イベント来場者数	人／年	526,414	628,000

基本方針3 観光基盤の整備

自然を活かした新たなアウトドアの拠点として、野岳湖公園のリニューアルを推進するほか、国内外からの観光客が安心・快適に過ごせるよう、Wi-Fi環境やトイレ、駐車場などの整備を進めます。シェアサイクルの利用促進等により二次交通を強化し、住民・観光客双方の利便性を考慮した基盤づくりに努めます。

目標	単位	基準値（R6年度）	目標値（R12年度）
外国人宿泊者数	人／年	2,832	3,600

基本方針4 情報発信・プロモーション活動の強化

国内外からの観光客誘致のため、ホームページやパンフレット、ガイドブックなど多様な広報媒体を整備します。インバウンド対応のため、多言語化やデジタル化を含めた効果的な情報発信を実施します。

目標	単位	基準値（R6年度）	目標値（R12年度）
HPアクセス数	回／年	260,558	310,000

第4章

大村市観光振興の基本施策

基本方針Ⅰ 歴史や自然等を活かした観光地の魅力向上

基本施策Ⅰ 体験・交流型観光の推進

体験・交流型観光は、本市の豊かな自然の魅力を活かしつつ、人と人が交流することで、観光客の満足度向上に寄与します。観光関連事業者等と連携しながら、再訪に繋げる仕組みづくりに取組みます。

【主な取組】

(1) 体験コンテンツの充実

体験型観光やアクティビティツアーの開発、プチ移住体験、自然を活かした体験コンテンツの充実を図ります。

(2) まち歩き観光の推進

おおむら歴史観光ボランティアガイドの会による観光案内や野岳地区のウォーキングコースの設定、多良山系のトレッキング等により、魅力ある観光コースを体感できる機会を創出します。



《おおむら歴史観光ボランティアの会》

(3) 地域間の交流の促進

姉妹都市や友好交流都市、天正遣欧少年使節ゆかりの地など、地域間の交流を推進します。

《姉妹都市》

- ポルトガル共和国シントラ市
- 米国カリフォルニア州サンカルロス市
- 兵庫県伊丹市
- 秋田県仙北市

《友好都市・友好交流都市》

- 中華人民共和国上海市閔行区
- 島根県飯南町

※【プチ移住体験】大村市への移住を検討中の方等に「おおむらプチ暮らし発見サポート」として、市内観光付きお試し体験ツアーを実施している。

基本施策2 自然を活かした観光の推進

本市の豊かな自然資源を活用し、オオムラザクラやソメイヨシノなどの桜や花菖蒲に加え、シャクナゲ、アジサイ、ヒマワリ、オオキツネノカミソリ、ヒガンバナ等、四季折々の美しい景観の魅力を発信します。また、野岳湖公園内に開業したフォレストアドベンチャー・おおむら長崎の充実や野岳湖公園のリニューアルに伴った誘客の促進を図るなど、自然と共生した通年観光に繋がる取組を行います。

【主な取組】

(1) 花のまちづくりの推進

道路や河川護岸へのサクラの植栽や、地元高校生と連携したミニ花菖蒲園の設置、花いっぱい運動など、市民や市民団体と連携して、四季を通して楽しめる花のまちづくりを推進します。

《花の開花時期》



(2) フォレストアドベンチャー・おおむら長崎の充実

令和7年に開業したフォレストアドベンチャー・おおむら長崎の誘客促進を図ります。施設の充実やアプリを活用した割引の実施等を行い、平日や閑散期には企業の研修の場等として活用します。



(3) グリーン・ツーリズムの推進

観光農園や農家民泊、各種体験を提供するグリーン・ツーリズムを推進します。生産者とのふれあいを通じて、大村の自然・食・文化を体感してもらうことで地域の魅力を伝えます。

基本施策3 歴史・文化資源の活用

大村市は、日本初のキリシタン大名となった大村純忠や天正遣欧少年使節など、キリスト教関連の歴史に深く関わる地であり、関連史跡は世界遺産に登録された長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産にも繋がる重要な歴史資源です。また、その他にも、玖島城趾や大村藩ゆかりの武家屋敷跡、地域に伝わる郷土芸能・伝統行事など、多様な歴史・文化の蓄積を観光資源として磨き上げます。

【主な取組】

(1) キリシタン関連史跡の活用

本市にあるキリシタン関連史跡が、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のはじまりであることをPRするとともに、観光資源として活用し、訪日外国人に向けた巡礼ツアーの誘致や、キリシタン関連史跡の広域的な周遊促進を行うなど、国内外からの誘客を図ります。

(2) 文化財の観光活用

国指定重要無形民俗文化財「郡三踊」※に代表される、市内に伝承する郷土芸能を定期的に披露する機会を創出します。また、玖島城趾に残る石垣など、市内に残る歴史資源を、観光資源として活用するための取組を行います。

(3) 長崎街道の活用

日本遺産「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」※に認定されている、本市の構成資産である大村寿司やへこはずしおこし、松原宿を活用し、イベント等で広く周知するとともに、地域の活性化を図ります。



《大村寿司》

※【郡三踊】寿古踊、沖田踊、黒丸踊からなる。沖田踊と黒丸踊は令和4年にユネスコ無形文化遺産にも登録された。

※【砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～】<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/stories/story103/>

基本施策4 食を活かした観光の推進

地元の食材や特産品、郷土料理を観光資源として活用し、食文化の継承と地域経済の活性化につなげます。また、官民協働による商品づくりやPRに取り組み、本市の地名度向上や販路拡大に努めます。

【主な取組】

(1) 食のイベントの開催

各関係団体と連携し、グルメフェアや牧場まつり、おおむら海と大地の感謝祭など、食のイベントを開催し、食の魅力のPRや地産地消への取組を推進します。

(2) 特産品の販路拡大

物産展への参加や農産物販売イベントを推進するとともに、ふるさと納税制度での活用や、新たな名産品の開発・掘り起こしなどを行い、ブランド化につなげます。

基本施策5 新たな観光資源の発掘

近年の旅行ニーズの多様化により、新たな視点からの観光資源の発掘は、持続的な観光振興に向け重要な要素となります。あらゆる視点から地域の観光資源を発掘し、観光資源として磨き上げ、新たなターゲット層の獲得を目指します。

【主な取組】

(1) 大村湾の観光活用

大村湾周辺自治体と連携し、波穏やかな大村湾を活かした新たな観光メニューの造成に取り組みます。



《大村湾と龍神島》

(2) インフラツーリズム等の検討

長崎空港や新幹線車両基地、自衛隊施設、萱瀬ダムなど、本市に所在する既存の施設等を有効に観光資源として活用するための取組を検討します。

基本方針2 観光イベントやコンベンション誘致の強化

基本施策1 まつりの充実

花火大会や夏越まつりなど、伝統あるまつりを地域の誇りとして次世代へ継承するとともに、それぞれの特徴を活かしながら、本市の魅力ある観光資源として磨き上げます。関係団体と連携し、広くPRを行い、市内外からの誘客を促進します。

【主な取組】

(1) おおむら花まつりのブラッシュアップ

関係団体と連携し、桜まつり、しゃくなげ祭り、花菖蒲まつりなど、期間中の集客を図るイベントの実施や、周遊に向けた取組等を行い、国内外からの集客を図ります。

(2) おおむら夏越まつり・おおむら夏越花火大会の充実

観光コンベンション協会やおおむら夏越まつり協賛会と連携し、大村の夏の風物詩として、おおむら夏越花火大会、おおむら夏越まつりの内容の充実を図り、地域に根ざした郷土のまつりとして受け継がれていく取組を推進します。

(3) おおむら秋まつりのブラッシュアップ

おおむら秋まつり協賛会と連携し、伝統あるおおむら秋まつりの特徴を活かしながら、内容の充実を図り、市内外からの誘客につなげます。

(4) 長崎街道大村藩宿場まつりの充実

物産のPRや販路拡大に繋げるため、長崎街道大村藩宿場まつりの充実を図り、「ひと・もの・こと」の交流を促進します。

【大村市の主なまつり】

名称	開催時期	実施主体
おおむら桜まつり	3月下旬～4月上旬	大村市観光コンベンション協会
裏見の滝しゃくなげ祭り	3月下旬～4月中旬	裏見の滝公園管理委員会
おおむら花菖蒲まつり	5月下旬～6月上旬	大村市観光コンベンション協会
おおむら夏越花火大会	8月1日	大村市観光コンベンション協会
おおむら夏越まつり	8月2日～3日	おおむら夏越まつり協賛会
おおむら秋まつり・ ご当地自慢グルメフェア	10月下旬～11月頃	おおむら秋まつり協賛会 大村市観光コンベンション協会
長崎街道大村藩宿場まつり	2月11日頃	長崎街道大村藩宿場まつり実行委員会

基本施策 2 多様なイベントの推進

イベントの開催は、地域の魅力を多角的に発信し、来訪者との交流を創出する重要な要素となります。地元事業者や各種団体の参画を促し、地域のつながりの強化やコミュニティの活性化を促進し、地名度の向上や地域ブランドの醸成を図ります。

【主な取組】

(1) 地域のイベントの支援

地域の人たちが主体的に取り組む、地域の特色を活かしたイベントを広く周知するとともに、支援を行います。

《地域の主なイベント》

- みうら勤作まつり（三浦地区：10月末頃開催）
- 鈴田ふれあい祭り（鈴田地区：10月半ば頃開催）
- もろこしフェス（西大村地区：6月頃開催）
- 田下しあわせイルミネーション（萱瀬地区：12月頃開催）
- 竹松ゆかたまつり（竹松地区：7月頃開催）
- ふくしげ夏まつり（福重地区：9月頃開催）
- 長崎街道松原宿ひなまつり（松原地区：3月頃開催）

(2) ミライオンやボートレース場でのイベント開催

日常的に集客が見込めるミライオン（長崎県立・大村市立一体型図書館、大村市歴史資料館）やボートレース大村などの施設を活用したイベントを推進します。



《ミライオン》

(3) 全国から集客する大型イベントの開催

全国から集客できるようなイベントを開催し、市の認知度向上と県内外からの関係・交流人口の拡大を図ります。

基本施策3 コンベンション等の誘致の強化

スポーツ・ビジネス・文化など多様なコンベンションの誘致を行い、観光需要の創出だけでなく、宿泊や飲食など地域経済の活性化に繋がります。また、本市の交通の利便性を活かし、市のスポーツ施設や近隣市町、民間の宿泊施設と連携して、スポーツ合宿や教育旅行の誘致を行い、交流人口の拡大を図ります。

【主な取組】

(1) 各種コンベンションの誘致

観光コンベンション協会の機能を強化し、本市の交通の利便性を活かした各種コンベンションの誘致に繋がります。

(2) スポーツ合宿等の誘致

スポーツのトップレベルチームの合宿の誘致を行い、子どもたちがトップレベルを間近で体感する機会の創出や、スポーツを通じた地域の活性化、市内小中学生への指導・交流等を実施します。



《ソフトボール女子TOP日本代表強化合宿》

(3) 修学旅行や教育旅行の誘致

全国からの修学旅行の誘致に取り組み、学校や旅行業者に対し修学旅行への支援を行います。また、関係機関と連携して、国内外からの教育旅行の誘致を行います。

基本方針3 観光基盤の整備

基本施策1 国内外からの観光客受入体制の強化

観光案内所や道の駅の充実により、国内外からの観光客の受入体制を強化します。野岳湖公園のリニューアルや大村公園の施設更新など、観光施設の魅力向上に取り組むとともに、災害や防犯対策、ユニバーサルツーリズムへの取組など、観光施設の安全・安心な環境の構築を図ります。

【主な取組】

(1) 観光案内の基盤強化

観光コンベンション協会や観光案内所機能を強化するとともに、多言語パンフレットの設置や観光案内板の維持管理、観光施設へのWi-Fiの整備等を行います。

(2) 観光交流拠点の機能強化

道路利用者への良好な休憩の場を提供するとともに、マルシェ・イベントを開催するなど、有効な情報発信を行いながら、周辺住民と来訪者が交流する賑わいの拠点として道の駅鈴田峠の活性化を図ります。

(3) 野岳湖公園のリニューアル

第1次アウトドア・パークデザインに基づき、アウトドアアクティビティの拠点としてアクセス道路の改修や野岳湖公園のリニューアルを推進します。



《野岳湖公園》

(4) 大村公園の魅力向上

「大村公園魅力向上構想」に基づき、「歴史・文化、自然を感じ、みんなが集い、育む公園」をコンセプトとして、大村公園の計画的な施設の更新を実施し、魅力向上を図ります。

(5) 安全・安心への取組

防災・防犯対策やユニバーサルツーリズムへの取組など、市民や観光客が安心して滞在できる観光施設の整備に取り組めます。

基本施策2 歴史・文化的な観光資源やまちなみの保全

本市の歴史や文化を伝える史跡・建造物・まちなみや自然豊かな景観は、まちの個性と魅力を構成する重要な資源です。これらの資源を次世代に継承していくために、景観の保全や文化財の保存・継承等を行い、持続可能な観光地づくりを推進します。

【主な取組】

(1) 景観の保全

大村市景観計画に基づき、良好な景観形成を図るとともに、歴史的なまちなみを保全します。

また、フォトコンテスト等の開催により市民の景観に対する意識向上を図り、新たな景観の魅力を発掘します。



《令和4年度フォトコンテスト最優秀作品》

(2) 文化財等の保存・継承

本市の伝統ある地域の民俗や文化、伝統、芸能、まつり等を後世に引継ぐため、文化財等の保存・継承を行います。

(3) 公園環境等の整備

歴史や自然等を活かした観光拠点のひとつとして、各公園の環境整備を行うとともに、その他登山道等の維持管理を行います。

《市内の主な公園》

- 大村公園
- 野岳湖公園
- 裏見の滝自然花苑
- 鉢巻山展望所
- 琴平スカイパーク
- 日岳公園
- 岳の木場公園
- 森園公園
- 大村市総合運動公園



《琴平スカイパーク》

基本施策3 観光アクセスの充実

観光客の利便性と周遊性を高めるため、公共交通やシェアサイクル、観光バスなどの二次交通の整備に努めます。長崎空港や新大村駅など、市の玄関口から観光地へのアクセスを強化するとともに、高齢者やインバウンドにも配慮した移動環境の充実を図ります。

【主な取組】

(1) 自転車活用の推進

大村市自転車活用推進計画と連携し、サイクリングルート^①の整備やシェアサイクルの利便性の向上など、安全で快適な環境づくりに取り組めます。

(2) バス路線等の維持確保

大村市地域公共交通計画に基づき、路線バスや乗合タクシーの再編・見直し等を行い、持続可能な公共交通体系の構築を図ります。

(3) 新幹線等の充実

部分開業となっている西九州新幹線の全線フル規格化への取組の推進や市内駅周辺の環境整備、駅周辺事業者との連携を図ります。



《西九州新幹線》

(4) 空港利用の促進

長崎県と一体となって、インバウンドの受入体制の強化を図るとともに、既存路線の増便、新規路線の開設、チャーター便の運航促進に向けた取組を行います。

基本施策4 観光推進体制の強化

多様化する観光ニーズに対応するため、行政・観光関連団体、民間事業者など、官民一体となった取組を推進し、持続可能な推進体制の強化を図ります。

【主な取組】

(1) 官民連携した取組の促進

大村市観光交流都市づくり推進協議会^{まち}や観光関連団体連絡協議会、包括連携協定を締結している民間企業との連携を強化します。

(2) 広域連携による観光の推進

JR大村線沿線活性化協議会[※]やシュガーロード連絡協議会、西九州新幹線沿線5市ネットワーク会議を活用し、広域連携への取組を推進します。

【JR大村線沿線活性化協議会】 <https://www.burari-omura.com/>

基本方針4 情報発信・プロモーションの強化

基本施策1 多様な情報発信ツールの活用

幅広い年代への効果的な発信ができるよう、ウェブサイトやパンフレット、動画など関係機関がそれぞれ所有する媒体を活用した情報発信を行います。またSNS等を活用し、住民目線の情報発信を促進することで、地域への愛着と地域の魅力を再発見する仕組みづくりに取り組みます。

【主な取組】

(1) ホームページの充実

観光情報等を公式ホームページや観光サイト、各関係機関のHPで計画的に配信します。

(2) SNS等の活用

SNSやその他あらゆる情報媒体を活用し、幅広い層へ観光情報を発信します。

基本施策2 戦略的プロモーションの展開

本市の認知度向上に繋がる活動を推進し、ターゲットごとのニーズや関心に応じた戦略的な情報発信を行います。

【主な取組】

(1) キャラクター等を活用したプロモーションの促進

おむらんちゃんや義犬華丸などのキャラクターやフラワー大使、観光大使、スポーツ大使等を活用して情報発信の強化を図ります。



(2) メディア等を活用した観光PR

映画のロケ地やガラスの砂浜などの映えスポット、龍神社などのパワースポットを活用し、パブリシティとの連携を図ります。

【大村市が関係する映画・ドラマの例】

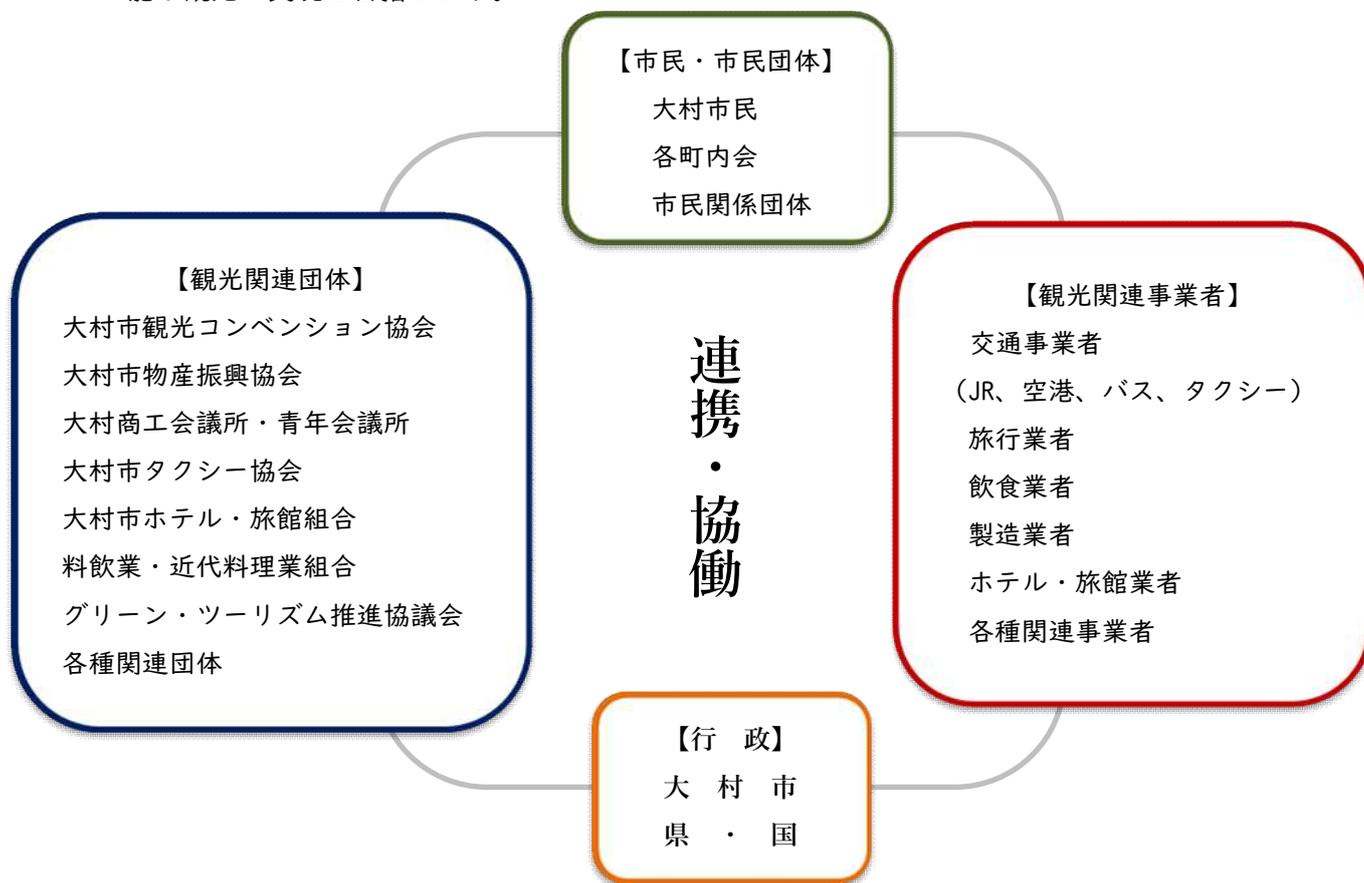
- ドラマ「龍馬伝」(平成22年) / 脚本: 福田靖
- 映画「こはく」(令和元年6月公開) / 監督: 横尾初喜
- ドラマ「MAGI」(令和元年) / 脚本: 鎌田敏夫
- 映画「こん、こん。」(令和5年9月公開) / 監督: 横尾初喜

(3) 観光DXの推進

大村市ポータルアプリ「おむすび。」やデジタル地域通貨「ゆでび」の活用、人流データの取得等により効果的な観光施策を展開します。

観光交流まちづくり計画の推進体制

市民や観光関連団体、ホテルや飲食等の事業者、行政など、官民一体となって観光交流のまちづくりを推進します。計画の実行と検証を継続的に行うP D C A体制を構築し、持続可能な観光の実現を目指します。



■市民の役割

- ・観光振興に関する取組に参画するよう努める。
- ・観光客を温かく迎えるよう努める。

■観光関連団体の役割

- ・観光情報の発信や観光客の誘致、観光関連事業者間の連携の推進、行政が実施する観光施策と連携を図るよう努める。

■観光関連事業者の役割

- ・事業活動を通じて観光客へのサービス向上に努め、観光関連団体と連携して観光振興への取組を推進する。

■行政の役割

- ・観光振興の基本方針を定め、総合的・計画的な施策を策定し、実施する。
- ・関連団体や関連事業者が連携して取組を進められるよう、総合調整や支援を行う。



【地域別観光資源】

《鈴田・三浦地区》

自然	日岳公園、どん牛山、千本桜公園
歴史	長崎街道鈴田峠歴史の道、鈴田牢跡、伊賀峰城跡
施設	道の駅長崎街道鈴田峠、鈴田峠農園、鈴田大神宮、三浦かんさく市

《萱瀬地区》

自然	多良岳、経ヶ岳、黒木溪谷、大村のイチイガシ天然林、琴平スカイパーク、大モミの木、萱瀬杉、しゃくなげの里河畔公園、オオキツネノカミソリ、五家原岳ツクシシャクナゲ群落
歴史	仏の谷、田下のクリシタン様式墓碑群、中岳古戦場の跡、菅無田古戦場の跡、大村純忠終焉の居館跡
施設	萱瀬ダム、えびねの郷、黒木キャンプ場、産直かやぜ、三彩の里、龍神温泉かやぜの湯

《大村地区》

自然	臼島、大村公園、龍神島、寺島、大村神社のオオムラザクラ、大村神社のクシマザクラ
歴史	玖島城跡、三城城跡、久原城跡、武家屋敷通り（本小路、上小路、小姓小路、草場小路、外浦小路）、五教館御成門、石井筆子像、旧円融寺庭園、三十七士の碑、楠本正隆屋敷跡、長与専斎の旧宅、松林飯山の墓、長与俊達の墓、玖島崎古墳群、大村藩御船蔵跡、長崎県忠霊塔
施設	ミライオン図書館、ボートレース大村、大村市国際交流プラザ

《竹松・西大村地区》

自然	すわの森、岳ノ木場公園、森園公園（ガラスの砂浜）
歴史	天正遣欧少年使節顕彰之像、首塚跡、胴塚跡、首塚跡、放虎原殉教地、獄門所跡、妻子別れの石、本経寺大村家墓碑群、義犬華丸顕彰記念碑、掩体壕、第21海軍航空廠本部防空壕跡、21海軍航空廠慰霊塔、黒丸踊
施設	長崎空港、新大村駅、サンSPAおおむら

《松原・福重地区》

自然	野岳湖公園、裏見の滝自然花苑、鉢巻山展望所、郡岳、松原海水浴場、赤似田さくら園
歴史	大村市今富のクリシタン墓碑、帯取殉教地、八幡神社、松原宿、弥勒寺の仏頭、大村の沖田踊、大村の寿古踊
施設	フォレストアドベンチャー・おおむら長崎、深沢儀太夫記念館、おおむら夢ファームシュシュ、フルーツの里ふくしげ、大又農園、のだけ村、旧松屋旅館、長崎スコアコーヒーパーク

【観光パンフレット】※画像をクリックすると電子版が開きます。

□おおむらガイドブック



○電子版はこちら



□おおむら歴史散策マップ



○電子版はこちら



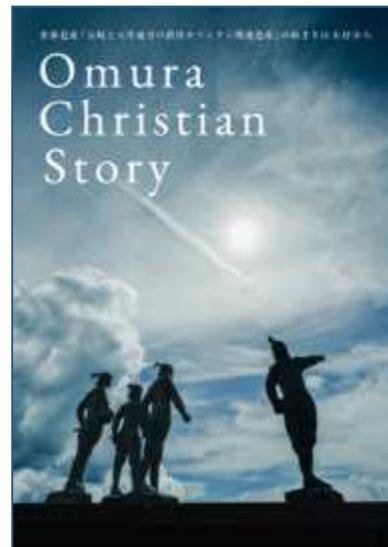
□大村スイーツシュガーロード



○電子版はこちら



□大村キリシタン物語



○電子版はこちら



【大村市が関連する映画・ドラマの例】

□ドラマ「龍馬伝」(平成22年) / 脚本：福田靖

坂本龍馬の生涯を描いたNHK大河ドラマ作品で、主演は福山雅治さん。大村湾で伝馬船のシーンなどが撮影され、船の一部と模型を新大村駅観光案内所で展示しています。



□映画「こはく」(令和元年6月公開) / 監督：横尾初喜

長崎県佐世保市出身の横尾監督による、自身の体験を元に描かれた作品。全編長崎県でロケが行われ、冒頭のシーンや川におもちゃを投げるシーンは郡川の河口付近で撮影が行われました。



□ドラマ「MAGI」(令和元年) / 脚本：鎌田敏夫

16世紀に、日本から初めてヨーロッパに公式に派遣され、過酷な旅路を乗り越え、ローマ法王への謁見を果たした4人の天正遣欧少年使節の物語。

MAGI公式サイト：<https://www.magi-boys.com/index.html>



□映画「こん、こん。」(令和5年9月公開) / 監督：横尾初喜

映画「こはく」に続く横尾監督の長崎県オールロケ2作品目。県民オーディションを実施し、10代～60代の多くの県民キャストが出演。大村市でも、幸町公園や中央商店街、寺島周辺や花文字山などで撮影が行われました。



【大村市観光交流都市^{まち}づくり推進協議会委員（令和7年度）】

	氏名	団体・企業名	役職
1	久田松 和則	大村史談会	会長
2	友廣 皇子	（一社）大村市観光コンベンション協会	専務理事
3	古川 洋平	（一社）大村市物産振興協会	副会長
4	山口 成美	大村市グリーン・ツーリズム推進協議会	会長
5	堀内 敏也	大村商工会議所	副会頭
6	野島 一将	大村商工会議所青年部	副会長
7	井原 孝司	大村市ホテル・旅館組合	専務理事
8	酒井 辰郎	大村市タクシー協会	会長
9	山口 稔	長崎空港ビルディング（株）	取締役
10	山口 直之	ANA あきんど（株）長崎支店	マネージャー
11	武内 拓馬	（公財）大村青年会議所	専務理事補佐
12	村川 一恵	松原宿活性化協議会	会長
13	角田 久	おおむら歴史観光ボランティアガイドの会	会長

順不同、敬称略

第2期大村市観光交流まちづくり計画 Ver1.0

※第2期から計画の名称を「まちづくり計画」とひらがな表記にしています。

大村市商工観光部観光振興課

〒856-8686 大村市玖島1丁目25番地

TEL：0957-53-4111

E-mail：kankou@city.omura.nagasaki.jp

URL：<https://www.city.omura.nagasaki.jp/>
